

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズタウンかじやま		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2024年 10月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2024年 10月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日も外活動を行って、ストレス発散や体幹の強化を図っている。	利用者の状態に合わせて活動は行うが、チーム別で活動内容を細かく決め、中でも個々に合わせた外活動を行うようにしている。	いつも同じ場所、同じ動作ばかりにならない様に、場所のリサーチや出来る動作の確認を行ったり、アイデアを出し合う取り組みを行う。
2	個々に合わせた課題や活動、又はお手伝い等を行っている。	利用者の状態に合わせて量の調整を行っている。習得したとして次の課題に進んでからも定期的に忘れていないか確認するようにしている。	学校や家庭、他放ディで行っている課題や活動内容の聞き取りをマメに行い、個々のスタッフが想像力を持って動けるようにしていく。
3	支援学校と支援級で活動空間や活動内容を分け、それぞれがスムーズに動けるようにしている。	（支援学校）平日は特に学校での疲れを考慮し、イレギュラーが多くならない様に心掛けて活動の提案をしている。（支援級）不穏にならない事を第一とし、嫌な活動は提案しない様にしている。長期休暇の際は、皆で外出先について話し合い、自分たちで決めるという事を大切にしている。	雨の日の活動や、外出プログラムの幅を広げていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近所から騒音や車の出入りに対して苦情が入っている為、室内で長時間過ごせなかったり、活動がのびのびと出来ない点。	近隣との距離が近いこと。子供がいないので理解が薄いこと。住宅地での活動という事。	密接している側に板を貼ったり、雨戸を閉めている。できる限り音を抑えるつもりで室内活動を短時間で行うようにした結果、車の出入りについてクレームが入り始めたので、これ以上の事は引越さない限り難しい。
2	賃貸の一戸建て住宅の為、バリアフリーに出来なかったり、階段等手すりの設置が難しい点。	賃貸物件という事。	階段には滑り止めのマットを敷き、転落防止の柵を設置しているが、手すりやバリアフリーに関しては手を加えられない。
3	大手やチェーン店の放ディさんと比較した際、HPがシンプルだったり、広告が出せていないので、認知度が低い点。	HPや広告に関して会社があまり力を入れていないというところ。	口コミでも広がっていくように（今以上に）利用者が安心して楽しめる活動をみつけていく必要がある。